

ワイズのお祭り広場-3

2013 - 14年度六甲部EMC事業主査 小野勅紘

中西部部会台風18号の進路の中での開催！皆様お疲れ様 9月15日(日)
昨日の阪和部部会とは打って変わって台風18号の直撃を心配しつつ開催の中西部部会に参加した。私の自宅茨木市では徒歩15分の至近距離であったが、遠方からのワイズに取っては初めての地でしょうか。茨木市在住34年の私も入ったことのない茨木市役所9階のスカイレストランは、職員食堂を思わせる風情ながら天気がよければ遠く万博会場も臨めるであろう好立地。茨木市在住ながら教会は神戸、職場は京都(ワイズは西宮)の私は当日は神戸の教会の礼拝に出席したあと、教会では会計のお役目のために献金等の集計に時間を取られ、部会に到着したのは開会点鐘から1時間後。式典・礼拝は終了間際。

到着して間もなく休憩に入り、2部は高槻市在住のバイオリン製作者岩井氏のスピーチ。私も茨木市生涯学習センターでギターを習う日々で、茨木市は全国でも有名なギターの聖地であるとか。有名な演奏者やギター製作者がおられるということで興味をもってお聞き出来た。講演の後は岩井氏製作でのバイオリンでの演奏も爽やかにお聞きした。

席は中部の皆様がおられ親しくお話しできましたが、一部は台風を心配され早々に帰還されました。残る谷川前事務局長は車で来られたとのことで、無事帰還されたか心配でした。翌日無事帰還のメールにホッとした次第でした。翌日は台風一過晴天突き抜ける好天。しかしテレビには昨日の台風で桂川が決壊したり大変な被害とのことに改めて無事部会が終了したのは不幸中の幸いであったと思われます。お礼のメールを三牧中西部書記に送ったところ、遠方の皆様に安否確認のメールを打っておられるところでした。

昨日は私も徒歩15分ながら、靴の中はびちゃびちゃの帰宅でした。皆様お疲れ様でした。総参加者数135名。



氏製作のバイオリンでの演奏 バイオリン製作マスターの岩井さんの講演

岩井

阪和部部会和泉砂川ワイワイ村で和やかなツーリズム体験 9月14日(土)
部会の第四弾は、今まで足を踏み入れたことのない初めての地、大阪府和泉わいわい村にて開催された。大阪駅から天王寺を経て、20分ほど遅れて和泉

砂川駅に到着した。車中にワイズメンの姿が見えないので不安に思って駅前に降り立つと鈴木監事、江見直前中西部長、桂京都部長らが集まってきてホッとしたところで、阪和部のメンバーの車に相乗りして会場に到着。

現地は田舎の風情をそのまま残したキャンプ場。背広ネクタイ着用で馳せ参じた違和感に始めて後悔。Tシャツ+ジーンズの似合う部会。大船渡のカレーに舌鼓を打って、各事業に分かれてのディスカッション。私はEMC事業Gに入って各部の同担当者と話し合った。

本部に戻って、アトラクション、アピールと続き、恒例の大野メン伴奏の歌う部会の締めくくり。また和泉砂川駅まで送ってもらい帰途についた。心配された雨は辛うじて持ったのは幸運であった。当地にはまた宿泊を兼ねてキャンプで訪れたいものであった。全参加者は116名。



茅葺の本部の前で開会点鐘



EMC事業分科会



恒例の次期西日本区大会のアピール

ワイズのお祭り広場-2

六甲部部会盛大に開催！

9月7日(土)

部会の第三弾は六甲部部会。今回は久しぶりにY M C Aを離れてJ R神戸駅前のクリスタルビルのクリスタルホールで開催された。

EMC事業としては別途、の第2回EMC事業委員会を開催して、部会の報告時には、当初各クラブの会長さん、EMC委員さんにご登壇いただき、「新六甲部200」チーム結成のシュプレヒコールを挙げていただくかと目論んでおりましたが、前者は会場の都合とメネットアワーと時間が重なることと、後者は部会の中でも2分という時間限定がありましたので、両方とも省略・簡略して、部会での今期2か月間の「新入会員のご紹介」に留めることにいたしました。

新入会員としては7月には田辺征一メンが鹿児島クラブ(神戸学園都市クラブ)から転会され、西澤他喜衛メン(神戸ポートクラブ)が入会、8月には篠坂幸彦メン、坂東幸子ウィメン、畠中俊成メン(いずれも芦屋クラブ)が入会され、5名の増員。六甲部の現状は1年前の部勢150名を回復しました。部会では西澤メン以外の方が出席され皆様にお披露目いたしました。畠中メネットもコメントの琶子(わこ)ちゃんと一緒に参加されました。

部会は深江丸船長さんの講演や大野メンの前期同様、歌いまくる六甲部の面目躍如といった盛会の内に終了出来ました。

予定していた、「新六甲部200」チーム結成のアピールは別の機会に送ることにいたしました。

芦屋クラブ8月例会で入会された畠中メンが紹介されていた「育メン支援の会」については、2013年9月18日付日経新聞に、政府が先導して働く父親のための支援活動として「育メン友の会」設立がトップで報じられています。ますます、畠中メンの活躍される場であると頼もしく期待しております。総参加者数138名。



メネットアワー（アート展出展者の母親）



左から田辺（学園）、篠坂（芦屋）、坂東（芦屋）の今期新入会の皆様（畠中メン・メネットも駆け付けられた）



神戸大学海事科学科教授で練習船深江丸の矢野船長の講演（東日本大震災支援のお話も併せてお聞きした）

ワイズのお祭り広場-1

京都部会盛大に開催！

9月1日（日）

去る9月1日（日）16時より、部会の第二弾京都部部会が京都駅ビルのホテルグランピア京都において盛大に開催されました。京都部部会は部会の中でも最も規模が大きく、またその企画の面でも群を抜いているので、京都部のメンバーはもとより、近隣の部、引いては今回台湾からも沢山のゲストが参加し、総勢460名を越す盛況でした。

今回の異色は、格闘技のリングアナをゲストに招き、聴き方によっては「赤コーナー、パウンド～」と聞こえてきそうなプロのアナよるオープニングセレモニー。18クラブの会長のバナーセレモニーと京都部役員の紹介だけで実に30分を要する圧巻。その中の紅一点、着物姿も艶やかな京都ウエストクラブ桂厚子部長による開会点鐘で開会の火ぶたが切って落とされた。

前期は京都部躍進の年でもあり、アジア地域大会での表彰式もあった、船木直前部長にエルマー・クロウ賞を授賞された。京都部は西日本区全体ではワイズメンバー減少の中での500名突破という快挙は見事な物で、その賞に値するEMC活動に寄与するところ大であったと思われる。

懇親会に入ってからダンスグループが舞う中、に来日中の台湾ダンシングチームによるダンスも加わって、興奮の坩堝！京都市立芸術大学OGによる弦楽四重奏団の演奏、覆面ダンサーズのステップと続く。宴たけなわ、クラブの活動状況の報告や、次回西日本区大会や周年記念例会、部会、RBMなどのアピールなどが続き、21時に5時間に亘る宴の打上げとなった。

来日中の台湾のクラブや多くのDBCの交流がその後京都の街に繰り出して繰り広げられたであろうことは想像に難くないでしょう。雨後というちょっとした束の間、天候もこの日だけは穏やかであった。



30分プロのリングアナによる盛大なバナーセレモニー



RBMのアピール（長壽和子ファンド事業主任、生雲文枝地域奉仕・環境事業主任、上村眞智子交流事業主任のワイズのAKB3人組のロールバックマラリアのアピール寸劇は、この後定型化）蚊帳の中の太目の蚊役は益国隆人西日本区書記